

2024年7月30日

6 つの安全設計に加え、「1 時間保温」機能と 清潔性に配慮した「注ぎ口 ほこりブロック」を搭載

電気ケトル(CK-KA10)新発売

象印マホービン株式会社では、「1時間保温」機能を搭載した電気ケトル (CK-KA10) を 2024 年 9月1日より発売します。

| 商品名 | 品番(容量) | 希望小売価格 | 発売予定日 |
|-------|----------------|--------|-----------|
| 電気ケトル | CK-KA10 (1.0L) | オープン価格 | 2024年9月1日 |





電気ケトル (CK-KA10) 左より、スレートブラック、ペールホワイト

当社は、業界に先駆けて*12008年に初代モデル(CK-BA型)を発売以降、「転倒湯もれ防止構造*2*3」「熱くなりにくい本体設計」「空だき防止」といった安全設計を施した電気ケトルを開発・販売し続けており、新製品でも、標準装備である"6つの安全設計"を引き続き搭載しています。

新製品は安全設計に加え、「1時間保温」機能を搭載しました。沸とう後も約1時間お湯の温度を約90°Cに保つため、2杯目のお茶を飲む際や、出かける時間が異なる家族が使用する際などに、再沸とうの必要がなくお湯を使うことができます。

また、好評の「注ぎ口 ほこりブロック」を搭載しました。ロックボタンと連動して注ぎ口が開閉するためほこりなどが入りにくい構造となっています。

- ※1 日本電機工業会加盟メーカーで初めて、「転倒湯もれ防止構造」「熱くなりにくい本体設計」「空だき防止」を搭載した電気ケトル。(2007 年 12 月 20 日発表による 当社調べ)
- ※2 フタがしっかりと閉まっていることをご確認ください。
- ※3 ロック状態になっていても、本体を傾けたり倒したりすると、注ぎ口からお湯が流れ出る恐れがあります。

商品特長

● 6つの安全設計

① 「転倒湯もれ防止構造※4※5」

倒れてもお湯がこぼれにくい構造です。

※4 ロック状態になっていても、本体を傾けたり倒したりすると、注ぎ口などからお湯が流れ出る恐れがあります。

※5 ふたがしっかりとしまっていることをご確認ください。

② 「蒸気レス構造※6※7」

本体の底部と上部に搭載された2つの沸とう検知センサーが蒸気の発生を見張り、本体の外に蒸気を 出しません。結露の心配がなく、レンジ台などの天板を濡らさないため、お掃除が楽で置く場所に困り ません。

※6 本体が温かい時や少量で湯沸かしをすると、注ぎ口から蒸気が出る場合があります。

※7 室温 23℃・水温 23℃、定格消費電力、満水時

③「本体二重構造」

外側が熱くなりにくいので、本体に手をそえて注げます。(本体接続部は熱くなります。)

④「自動電源オフ」

沸とう後約90℃で保温し、約1時間後に自動的に電源が切れます。(保温選択時) 沸とうを検知して、自動的に電源オフします。(保温切選択時)

⑤「空だき防止」

空だきを検知して、自動的に電源オフします。

⑥「給湯ロックボタン」

ロック状態であれば、倒れてもお湯もれを抑えます。

● 少しだけ保温したいときに便利な「1時間あったか保温」(選択式)

沸とう後約 90 \mathbb{C} で保温し、約 1 時間後に自動で電源が切れます。2 杯目のお茶やコーヒー、スープを飲む際、再沸とうの必要がありません。

● ほこりの入りにくい「注ぎ口ほこりブロック」

ロックボタンと連動して注ぎ口が開閉するため、ほこりなどが入りにくい構造です。また、給湯のロック状態がひと目で分かります。



注ぎ口開き時

注ぎ口閉め時

● 気になるカルキ臭を抑える「カルキとばしコース」(選択式)

沸とう後、約2分30秒カルキ飛ばしを行い、気になるカルキのニオイを抑えます**8。 **8 約80%除去(日本電機工業会自主基準(JEMA·HD65)に基づき試験を行った値)

● お手入れしやすい「フラットふた」&「広口内容器」

ふたはフラットな形状でお手入れしやすく、内容器の口が広いので、給水も簡単です。



● <u>必要な分だけすぐに沸く「ハイパワー1300W」</u>

カップ1杯(140ml)約60秒で沸きます。(室温23℃・水温23℃・定格消費電力、当社調べ)

- スムーズに取りはずせるから、給水もお手入れも簡単「軽くはずせるふた」
- ひと目でお湯の量を確認できる「見やすい水量窓(2カ所)」

水量窓が2カ所についているので、ハンドルが左右どちらにあってもお湯の量をすぐ確認できます。

- 持ちやすい形状のハンドル
- 流線がなめらかで注ぎやすい「なめらか注ぎ口」

商品画像



スレートブラック (-BM)



ペールホワイト (-WM)

商品仕様

| 商品名 | | | 電気ケトル | |
|--------------------------|---|-------------------|----------------------------|--|
| 品番 | | | CK-KA10 | |
| 希望小売価格 | | | オープン価格 | |
| 満水容量(L) | | | 1.0 | |
| 定格消費電力(W) | | 1300 | | |
| √H 3#1 2 . 1 . π± HH % α | | 満水時(約) | 5分 | |
| 湯沸かし時間※9 | 力 | ップ 1 杯(140ml)(約) | 60 秒 | |
| 外形寸法: | | 本体のみ | $25{	imes}16{	imes}22$ | |
| 幅×奥行×高さ(約 cm) | | ベース含む | $25 \times 16 \times 23.5$ | |
| | | 本体のみ | 1.1 | |
| 質量(約kg) | | 電源プレート含む | 1.3 | |
| 電源コード (m) | | 1.3 | | |
| 色柄 | | スレートブラック (-BM) | ペールホワイト (-WM) | |

^{※9} 日本電機工業会自主基準による測定(室温 23℃・水温 23℃)定格消費電力

※リリース内の画像に関しては、下記広報部までお問い合わせください。

◎本製品に関する読者からのお問い合わせ先

お客様ご相談センター フリーダイヤル 0120-345135 象印マホービン ホームページ

http://www.zojirushi.co.jp

【ご参考】

電気ケトルは簡単にお湯が沸かせる便利なアイテムですが、普及に伴い、電気ケトルが転倒して幼児がやけどをする事故などが相次ぎました。これを受けて電気用品安全法が改正され、2024年8月1日以降は「転倒後10秒間での流水量50ml以下」の基準を満たした製品以外の製造・販売が禁止*となります。当社は、2008年の初代モデル(CK-BA10)発売以降、業界に先駆けて「転倒湯もれ防止構造」「熱くなりにくい本体二重構造」「空だき防止」などの安全設計を施した電気ケトルの開発・販売を続けてきました。

※ 経済産業省で定める電気用品の技術上の基準を定める省令 別表第十二「国際規格等に準拠した基準」に準拠した場合

これらの安全設計により象印の電気ケトルはすべての製品においてSマーク認証を取得しています。Sマークは、電気用品安全法を補完し、電気製品の安全性を担保する第三者制度です。Sマーク付き電気製品は、第三者認証機関によって製品試験及び工場の品質管理の調査が行われている証です。